

1. 本園の教育目標

太いねっこ・かがやくひとみ

- ・心も身体もすこやかな子供
- ・前向きで、楽しく、力強く生きていける子供
- ・やさしい気持ちの子供

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した

学校評価の具体的な目標や計画

めざす子供像 ～友達と一緒に楽しいな～

一人ひとりが幼稚園で安心して過ごし、友達とかかわって遊ぶ。

努力目標 ～子供が様々な表現を楽しみ、意欲的に遊ぶための環境や援助を考える～

《努力目標をテーマに園内研修を行い、めざす子供像を達成する。》

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 新幼稚園教育要領に基づいた指導計画の立案	B	努力目標達成に向け、保育をすすめることができた。しかし、新教育要領を意識した指導計画の見直しが不十分だった。次年度も意識して取り組みたい。
(2) 個々の幼児の評価や課題に応じた保育	B	日々保育の前後に一人ひとりの子供の育ちや課題について共通理解するように心掛けたが、具体的な援助の方法を定期的に話し合えなかった。
(3) 円滑な幼小の接続	A	小学校低学年の授業に参加させてもらったことで、日常の児童の生活の様子がわかり、気付いたことを保育の中や保護者との懇談に生かすことができた。

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	音楽あそびを中心に子供達が様々な表現を楽しむことができる保育について考え、進めることができた。また、子供一人ひとりを丁寧に理解し、全職員で連携して援助をすることができた。しかし、保育内容に偏りがあり、見通しをもって保育を進めることが十分にできなかった。

※3、4の評価結果の表示方法

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが、成果が十分でない

D 取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的取組方法
長期的に見通しをもった保育	元年度の評価・反省を生かしながら、新幼稚園教育要領に基づいた指導計画を作成し、見通しをもって内容に偏りがないように保育をすすめていく。
個々の幼児の評価や課題に応じた保育	職員間で一人ひとりの子供の育ちや課題について定期的に話し合い、支援の方法を考え、適切な援助を行う。
小学校・保育園との連携	交流の時期や内容を見直し、同年齢の育ちについて考える機会をもったり、円滑な幼小の接続につながるよう計画を立てたりする。